

『就職活動を終えて振り返る、おの100』

僕は第二回目と第三回目の『おの100』に参加させていただきました。

そして、この二回の『おの100』への参加を通じて、本当に沢山のことを学び、多くのものを得ることができたと思います。

今回はその中でも、僕が就職活動中に実感した『おの100』で自分が学んだことについて少し書いてみたいと思います。

まず、『おの100』の事前研修から本番での様々な活動を通じて、行動の「計画」「実行」「確認」「改善」というサイクルを回すことの重要性を学べたことは本当に良かったと実感しました。

『おの100』では多くの仕事や役割を学生リーダーに任せてもらえます。そして、学生リーダーたちは慣れない作業に常に試行錯誤しながらも『おの100』を成功させるために、それぞれの役割に真剣に取り組んでいきます。このような活動の中で「計画」「実行」「確認」「改善」というサイクルが自然と自分の中にも形成されたように感じます。

『おの100』でこのサイクルを意識して行動するということを体験的に学んだおかげで、僕は就職活動を円滑に進めることができたように思います。

次に、僕が『おの100』から学んだことは「聴く力」についてです。

例えば、面接のように限られた時間で、相手の考えや想いを少しでもよく理解するためには、ただ相手の話を受動的に聞くのではなく、必要に応じて質問等を交えながら能動的に相手の話を聴く姿勢を持つことが重要になります。このような聴く力を向上させることがコミュニケーション能力の向上へもつながっていくはずだと僕は考えています。

そして、僕は『おの100』での学生リーダー同士の話し合いや、子どもたちとの触れ合いなどを通じて自らの「聴く力」を向上させることができたと思っています。

最後に、何とんでも大学生のうちにこの『おの100』という事業に真剣に取り組み、多くの人と協力し合って成功させることができた、という自信が就職活動中の自分にとって何よりの励みになったと思います。

今回挙げたこと以外にも、本当に沢山のことを僕は『おの100』から学ぶことができました。『おの100』で得たものはこれから社会人になっても、きっと活かすことができると思います。

今でも柿本団長をはじめとする『おの100』のメンバー、そして『おの100』を支えてくださっている皆様に対する感謝の気持ちでいっぱいです。

本当にありがとうございました。